

夢に向かって挑戦する生徒～命の輝き 笑顔と「ありがとう」



水俣第二中学校
学校便り

夢・挑戦

平成31年1月15日
水俣市立水俣第二中学校
校長 前田 裕美

さあ、30年度3学期、そして、31年度ゼロ学期！
「感謝の心」で！「攻めの姿勢」で！！



3学期始業式 生徒発表

1月8日（火）に3学期の始業式があり、

1年溝上さん・2年佐々木くん・3年乗田くんが各学年を代表して、抱負を述べました。新年を迎え、心地よい緊張感と希望に満ちた発表でした。今回は3年生の乗田くんの発表を紹介します。

中学三年間を振り返ってと未来について

僕は中学一年生の時、授業を受ける態度があまりよくありませんでした。授業では、学年が進むにつれて、授業内容が難しくなりました。そこで僕は、苦手な数学の計算や公式などの基本的な学習からすることにしました。すると、テストや自分の評価が上がり、やる気が出て、さらに他の教科も同じように基本的な学習からすると少しずつ結果が出てくるようになりました。

また、中学三年生になり、高校進学へ向けて、これまでよりさらに勉強をしなくてはならなくなりました。分からないところや難しいところがあったら、すぐに隣の人や周りの人などに教えてもらい、さらに、教えてもらうことによつて、考え方や意見を持つことができるようになり、人に聞いたり話したりすることは、とても大切だと思うようになりました。

授業でも、教え合い学習に取り組むことで、みんなの成績が上がったり、普段話さない人とも話をするようになったりするなど、生活する上で、伝え合うことは大事なことでとわかりました。自分の目標は、一年からレギュラーを取り、シヨートで試合に出場することです。バッターとしての目標は、ピッチャーがなげる配球を読み、粘り強く豪快なスイングをするバッターになることです。

そのためには、生活を見直し日々の自主トレを人一倍していきましょうと思います。

残り少ない中学生活では、これまでの経験を生かし、さらに自分の能力を高めて生きたいです。仲間と過ごす日々を大切にしたいです。最後までがんばっていきます。

○始業式の校長式辞では、まず、「二中の皆さん全員が、命を大切に今日を迎えてくれたこと心より嬉しく思う。」と伝え、「みんなに平等に与えられている一日86,400秒を大切にしよう。」「物事の一つ一つに感謝の心を持って節目をつけ、それを土台に、さらに成長していこう。」という話をしました。

2学期終業式 生徒発表

冬休みを迎える前の12月21日（金）に行われた2学期の終業式。そこでは、各学年を代表して、1年柏木くん、2年濱崎さん、3年田辺くんが2学期までの振り返りとこれからがんばりたいこと等を発表してくれました。それぞれに、大変立派な発表でした。今回は代表して3年生の田辺くんの発表を紹介します。

それぞれに、大変立派な発表でした。今回は代表して3年生の田辺くんの発表を紹介します。

二学期を終えて

僕がこの二学期を終えて感じたことは、一つの物事を実行し、判断、決定することの難しさです。このことを強く実感することができる出来事が二つありました。

一つ目は文化祭の合唱コンクールです。僕のクラスの三年一組では、二週間程度前から朝練を始めました。しかし始めた当初は、参加人数が少なく、全員揃うことはありませんでした。少ない人数では声の大きさも小さく、練習になりませんでした。全員で同じ目標に向かっていくことはこんなに難しいものかと実感する出来事でした。それから文化祭直前まで、お互いに声をかけ合いながら練習を盛り上げようとしていきました。そのおかげかだんだんと参加人数も増え一週間前には全員が揃うようになりました。それは一人一人がクラスの目標を意識し始めるようになり、クラスのみんを思う気持ちを持つことができたからだと思います。最後の一週間の追い込みはすさまじいもので、男子と女子の声を一つにまとめることができました。本番では最優秀賞を受賞することができ、二学期一番の思い出となりました。一つの目標に向かっていくこと、そして全員で協力することの難しさと大切さを感じた出来事でした。

二つ目は進路決定に向けてです。先日三者面談が終わり、三年生全員の進路目標が決定しました。僕自身、今年の4月にはこの高校へ行きたいなという気持ちはありましたが、まだまだ十分に考えることができていませんでした。本格的に決断を始めたのは11月になってからのことです。色々な高校からの話を聞くことができ、それを基に考えることができました。自分に合っているのか、どのように成長できるのか、三年後の自分の姿はどうなっているのだろうか…とても悩みました。しかし、将来の自分の姿をイメージすることで決断をしていく事ができました。高校を決めた一番の決め手は、「自分が本気で夢に向かって頑張れる場所なのか」ということでした。学校の雰囲気、環境を考えて自分に合っているのかが決め手となりました。

進路のことについて考えすぎたり、悩んだり、不安になったりしました。なぜかイライラして落ち着かない日もありました。それは僕だけに限らず、三年生の大半の人は悩みや不安を抱えながら過ごしていたと思います。しかし、その中で答えを探し進路目標を決めたということは、その高校で頑張るという強い覚悟の表れだと思います。なので、どこへ行ってもみんなは負けないと思います。

一、二年生へ。まだまだ高校のことは先だと思いませんか？僕も、去年、一昨年そう思っていました。しかし、決断の時はあっという間にやってきます。今からでも、自分が将来何になりたいのか、どこの高校へ行きたいのか考えたり、家族や友人と話したりすることが大事です。その方が、三年生になって進路目標を決めるときに楽になると思います。

僕は、冬休みが終わるとすぐに受験があります。今日からはもっと勉強を頑張りたいと思います。それだけでなく規則正しい生活を心がけようと思います。なぜなら、高校に入った後に寮生活が始まるからです。高校での良いスタートを切るための準備を始めていきます。

合唱コンクールで学んだように全員が協力することはとても難しいことです。ですが、みんなの力がそろったときは、大きな力になります。僕は自分の受験が終わった後も、周りの人の手助けをしていきたいと思います。受験は団体戦。最後はみんなが第一志望の高校に合格できるように三年生全員で受験に向かって頑張りたいです。

四ヶ月後にはそれぞれ別の場所にいます。この学舎で共に学べる時間を大切にしていきたいです。

○中学校の3年間の子供たちは、まさに“体”も“心”も“おおいそがし”。まばゆいほどの成長をするが故に、未完成で不安定な部分もたくさんあります。日々の多くの出来事に、保護者や地域の方や職員が一緒になって「関わる」。その日々の積み重ねが、生徒の姿、言葉につながっています。

○今年も、二中生の成長を心より願っています。どうぞよろしくお願いいたします。

